



様式第7号

議長	副議長	局長	次長	主幹	係長	係員

## 行政視察報告書

令和7年12月26日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 ..... 大山盛久 ..... 印  
 議員 ..... 山本 聡 ..... 印  
 議員 ..... 西山博行 ..... 印

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

### 記

#### 【1】京都大学起業部

住 所	京都府京都市左京区吉田本町
電 話	075-753-7531
視察案件	起業を起点にして関係人口を創出する方法について
期 日	令和 7年12月18日(木) 12時50分 から 14時20分 まで
応 対 者	京都大学起業部 前部長 (株) カタルシス 代表取締役 山本周雅 様 京都大学起業部 部長 (株) AI 就活 人材事業部 運営責任者 久次佑宜 様
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	Katharsis (カタルシス) 京都市左京区田中門前町28-14 吹上ビル 3階 ※京都大学起業部 活動拠点
概 要	京都大学起業部は学生や起業家が相互に刺激し合うコミュニティ型の組織である。月2回の定例会や他大との合同デモ会、地域と交流する会などを通じ、実践的な事業の進捗共有を重視している。運営はOBの支援等により会費無料で5年以上継続している。具体的な手続きよりも今熱い事業ネタの共有が中心で、インキュベーターとしての機能を持つ。学生は低コストなAI・IT分野での起業が主流であり起業を「ポータブルスキル」として捉え、卒業後は就職する者もいるが、再起業を目指す循環が生まれている。若い世代の起業感と起業を関係人口創出に結び付ける方法論、若者が地域で育ちいったん市外に行ったとしても、再び笠岡市で仕事をしたいと思える基盤整備の重要性を学んだ。
添付書類	視察状況写真 名刺

【2】QUESTION (京都信用金庫)

住 所	京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 390-2
電 話	075-585-4190
視察案件	共創施設を使った多世代交流の仕組みについて
期 日	令和 7年12月19日(金) 10時00分 から 12時00分 まで
応 対 者	京都信用金庫 QUESTION 館長 平野哲広 様 株式会社ツナグム 代表取締役 田中篤史 様 認定NPO 法人 グローバル人材開発センター コーディネーター 三谷翔 様
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	QUESTION
概 要	QUESTIONは、京都信用金庫が運営する「問い」から新たな価値を生み出すための共創施設である。京都市中京区の河原町御池に位置し、多様な人々が集い、一人では解決できない地域の課題や個人の問いに対して、対話を通じて答えを探る場となっている。館内は、誰でも利用できる1階のカフェバーから、コワーキングスペース、学生専用ラボ、コミュニティキッチン、さらには実際の銀行店舗までを備える。笠岡市としては、金融機関が主導する創業支援や多世代交流の仕組みは、遊休資産の利活用や官民連携による地域活性化の新たなモデルとして参考にすべき点が多い。特に、コミュニティマネージャーが介在して「問い」を解決に導く伴走支援の手法は、地域の課題解決を促進する大きなヒントとなる。また、新しいイコモノ(拠点)を作る前に、まずは今動いている『人(プレイヤー)』に光を当てること、地元の人が当たり前だと思っている資源を外部の視点を入れて丁寧に見つめ直すことの重要性や、建物を作って終わりではなく、ソフト面(全体設計や人の繋がり)をどうデザインするかも大切である。「解像度を上げて、今ある資産と人を活かす」という視点は、これからの笠岡の政策において重要な指針になる。
添付書類	視察状況写真 名刺